

「さわやか西中 あこがれの自分を求めて」

平成28年度 柳津町立西山中学校

# 学校だより

平成28年10月 7日(金)発行 第 25 号 発行責任者:高橋 弘悦

## Ipadが入りました

柳津町では、「教育用パソコンおよび電子黒板、タブレット型端末等を整備し、ICT活用教育を充実させて情報化社会に対応する力を高めます」という目標を掲げ、順次設備の充実を図ってきています。

昨年度は小学校を整備、平成28年度は中学校を重点的に整備していますが、このほどようやく本校にもiPad16台が整備されました。

iPadは、昨年度西山小学校に導入され活用が図られてきましたが、満を持して中学校での活用となります。現段階では、生徒一人1台、教室に1台、職員室に研究用1台を配当し、授業で活用して参ります。

iPadには、インターネットを用いての調べ学習はもちろんですが、発表用のツールとすることもできますし、何人かの生徒の考えを一つの画面で表示して比較検討する学習もできます。また、カメラ機能がついていますので、生徒が撮った画像をみんなで見たり、教師が資料を提示するツールともなります。

これまでの授業では手間がかかったようなことでも、iPadを使うと簡単にできるようになります。今後活用方法を研究し、生徒の学力向上に資していきたいと思えます。



## 海外派遣に参加して

3年 原 雅

私は初めて、海外へ行きました。楽しみと同時に、私はしっかり英語が話せるかなと心配でたまりませんでした。私がハワイに着いて感じたのは、やっぱり日本と違って暑かったです。私は、ハワイの温度が丁度良かったです。

私にとって一番の思い出は、なんと言ってもホームステイです。現地の言葉はあまり分からないのでしっかり受け答えできるか不安でしたが、行ってみれば皆さんがとても優しく安心



しました。ホームステイの人に持って行ったプレゼントも気に入ってもらえて子供も遊んでくれて嬉しかったです。そこのホームステイ先である男の子と仲良くなれて一緒に遊んで楽しかったです。これから出来るか分からない体験だったので、この体験を忘れないようにしたいです。

ホームステイの皆さんとお別れする時にホームステイ先のお母さんが私達にブレスレットをプレゼントしてくれました。とても、嬉しくて大切に日本に帰るまで身に着けていました。とても暖かい家族で、家族を大切にしていたことがホームステイ先で良かったと思いました。日本に帰る時、皆とホームステイ先の話を楽しみました。皆、楽しかったそうです。とても素晴らしい体験ができました。

この体験を通して私は、不安でしたが着いてからはいろんな歴史や文化を学び、ホームステイの皆さんも優しく良かったです。柳津中とも交流できました。また、ハワイに行く機会があったら今度はもっとハワイの歴史や伝統などに興味を持って行きたいです。私にとって海外派遣は素晴らしい体験になりました。

### 3年 金子 千聖

七月の末から八月にかけて、私は海外派遣に行ってきました。主な内容は、ハワイの文化や暮らしの違いを感じたり、戦争などの歴史を学んだりすることです。ホームステイの体験もでき、とても充実した六日間になりました。

私が海外派遣に参加しようと思ったきっかけは、英語弁論大会に参加することになったからです。もともと、あまり英語が得意ではなく苦手だったので、参加することになったときはとても焦りました。でも話がちゃんと伝わるのか、ホームステイではホストファミリーと仲良くできるのかなど、いろいろな不安があり、ぎりぎりまで行くか行かないか迷っていました。ですが、発音や日常生活で使う英語を実際に体験してみたかったので、行くことにしました。

乗りなれない飛行機や時差に、ハワイに着いたときはもうすでにかなり疲れていました。空港から出ると、日本ではなかなか見られない建物や、景色が広がっていました。泊まったホテルも、一、二分歩けばすぐビーチになってしまうような場所であり、部屋から見るハワイの風景は、とても心に残りました。心配だった英会話も、ジェスチャーや単語でちゃんと伝わり、家族へのお土産もしっかり買うことができました。ホームステイ先では、私たち以外にも留学生がいて心強かったです。子供が多い家だったので、一緒に遊んだり絵を書いたりして遊びました。ホームステイ最終日には、ホストマザーにブレスレットをもらいました。今でも大切にしておいてあります。

本当に貴重な体験ができた六日間でした。本場の英語にも触れられ、学んだこともたくさんありました。私は今回の海外派遣でハワイは二度目でしたが、一回目よりもずっと印象に残りました。今度海外に行ける機会があったら、今度はヨーロッパのほうにも行ってみたいです。



## 柳津町ファミリーシアター

6日、柳津小学校で開催されたファミリーシアターに参加しました。

今年は演劇鑑賞。「イソップランドの動物たち」という音楽劇で、メッセージ性があり、「来てよかった」と感じさせるものでした。小学生は純粋に楽しみ、中学生には、そのメッセージ性と限られた道具立てによる表現の巧みさが秀逸で、「本物のすごさ」を感じさせてくれました。

平成28年度児童青少年演劇地方巡回公演 芸術文化振興基金助成事業

ふくしま けん 福島県ファミリーシアター

主催 開催地市町村教育委員会 公益社団法人 日本児童青少年演劇協会  
公益財団法人 福島県文化振興財団

### イソップランドの動物たち

原作/イソップ寓話より  
構成・演出/関矢幸雄

準あらすじ 巻  
イソップ寓話の中から八本を選び構成した、オムニバス音楽劇です。音楽は、アフリカに広く伝わる民族楽器を駆使して、すべて俳優たちが演奏し、歌います。  
「犬とおんどりとキツネ」…犬とおんどりが仲良しになり、一緒に旅に出ました。夜になって、おんどりは木の上で、犬は番をするように根元の穴で眠りにつきました。また夜の明けきらないうちにおんどりが時をつけたので、キツネに聞きつけられてしまいました…  
「ライオンと？」…ライオンが昼寝をしているところへ、小さな動物がぶつかりました。ライオンは小さな動物を捕まえて食べてしまおうとします。  
「王様を欲しがったカエルたち」…汚く濡れ果てた池に住むカエルたちが、きれいな住みよい池にするために、音、この池を支配していたような立派な王様を授けてくれと、神に祈ります…  
ほか、「オオカミと羊番の少年」「カニの親子」「ウサギとカメ」「アリとキリギリス」「キツネとカラス」